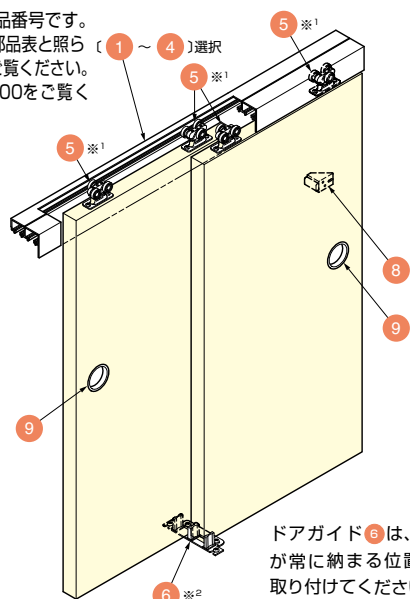


本カタログに掲載している製品内容は、部品としての品質範囲です。この部品を使用した最終製品の機能・性能・安全を保証するものではありません。

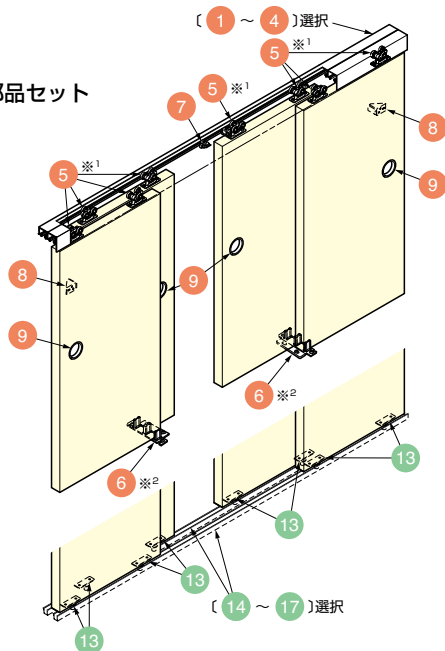
■134F 納まり寸法例

丸番号は部品番号です。
右ページの部品表と照らし合わせてご覧ください。
138FはP.600をご覧ください。



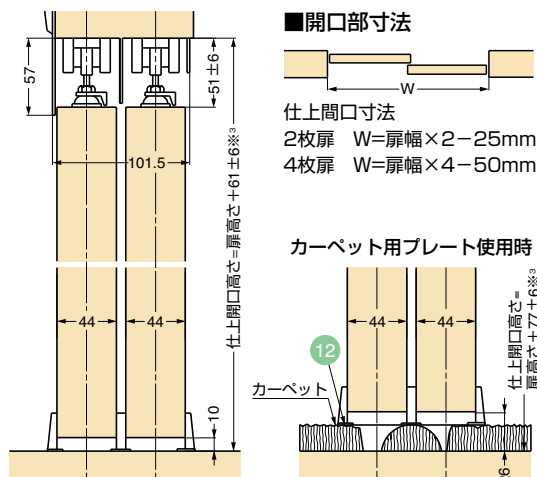
ドアガイド⑥は、扉が常に納まる位置に取り付けてください。

□部品セット



※¹扉の動きをより滑らかにするローラー（ベアリング入り）⑩も使用できます。

※²ドアガイド⑥を差し替えてガイド⑪も使用できます。

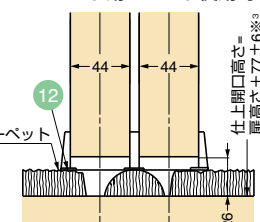


※³扉の高さは-6mmから+6mmの範囲で調整可能。

■開口部寸法

仕上間口寸法
2枚扉 W=扉幅×2-25mm
4枚扉 W=扉幅×4-50mm

カーペット用プレート使用時



部屋の間仕切りに最適な中量厚扉用の引戸金物。

■扉仕様 【厚さ：44mm】【質量：56kg以下/扉1枚当り】

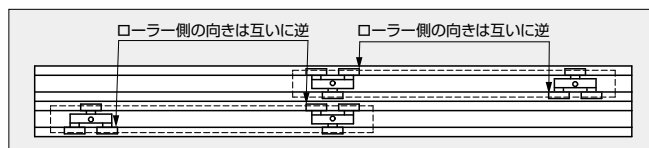
■特長

- 下レールが不要で、施工が簡単に行える木扉用引戸金物です。
- 上レールには、扉の上面と上レールのすき間を隠す目隠し付きで、扉がすっきりと見えます。

■注意

- 扉開閉時の衝撃に耐えられ、扉質量に対応できる強度を持った枠に取り付けてください。強度のない枠は扉の動きを著しく低下させるばかりでなく、上レール①～④の脱落などを引き起こすことも考えられ、大変危険です。
- 上レールは、必要な長さに切断し、切り粉などが上レール内部に残らないようきれいに除去してください。扉の静かな走行のために切り粉の清掃は重要です。
- 扉が3方枠の縦枠に当たらない仕様の場合は、別途縦枠か戸当りを必ずご用意ください。

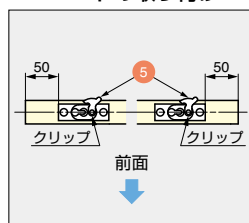
■上ローラー⑤、上ストッパー⑦の組み込み



・上ローラーおよび上ストッパー（4枚扉専用）は、必ず先に上レール①～④に入れてから、上レールを取り付けます（上ローラーのベースプレートは、クリップを緩めて上ローラーから外しておきます）。

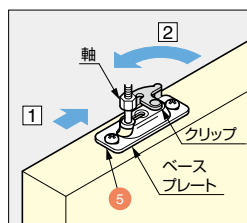
注）扉の荷重が均等になるように、扉1枚に取り付ける上ローラーは、上図のように、ローラー側の向きが互いに逆になるように上レールに入れてください。

■上ローラー⑤のベースプレートの取り付け



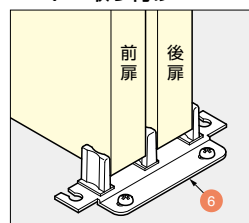
扉木口から50mmの位置に取り付けます。クリップは扉の後面側にくるようにしてください。

■扉の吊り込み



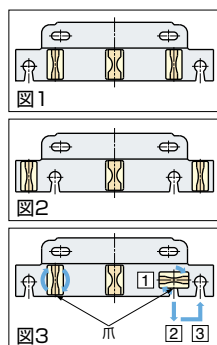
1. 図のように上ローラー⑤の軸をベースプレートのソケット部へ差し込みます。
2. クリップを矢印のように回し、ピボットが外れないようにしっかり止めます。
3. 扉をスライドさせ、軽く動くことを確かめます。前扉も同様にして吊り込みます。

■ドアガイド⑥（フレ止め）の取り付け

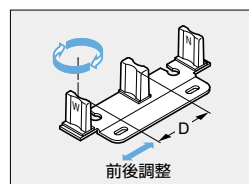


両扉の木口面をそろえ、扉が垂直になる位置でねじ止めします。

■ドアガイド⑥の組み替え・調整



ガイドの爪位置が図1の場合は図2のように組み替えが必要です。図3を参考に爪を回し組み替えてください。



Wの文字が外側に見えるときは、ガイドの間隔D寸法は広くなります。狭くしたいときは、矢印のように半回転すればN文字が外側にきてWのときよりD間隔は1mm狭くなります。

輸入品のため、製品改良などにより予告なく寸法や材料の仕様変更を行う場合があります。念のため、現品にてご確認ください。